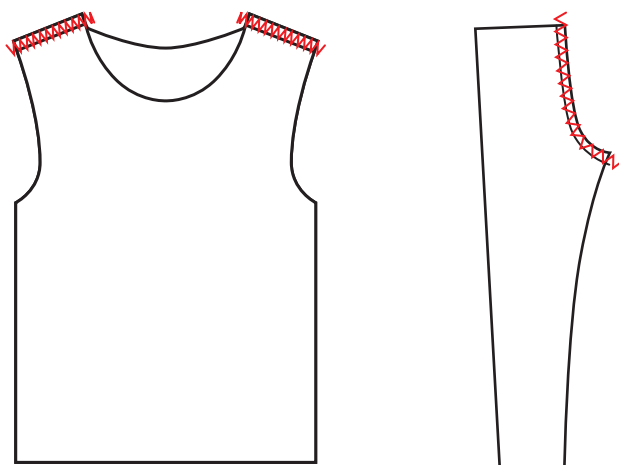


④ 肩の縫い合わせ、股下の縫い合わせ

(バルキー押えでウーリースピンテープを入れながら縫う)

バルキー押えを使うと、Tシャツなどの肩の縫い合わせやニット地のパンツ・レギンスの股下などを縫うときに伸び止めとしてウーリースピンテープと一緒に縫い込むことができます。

アイロンなどで伸び止めテープを貼付する方法と比べると、一手間省けて便利です。



- 使用できる機種 1 本針 3 本糸差動付きロック
2 本針 4 本糸ロックの全機種
- 使用する押え バルキー押え
- 必要な材料 ウーリースピンテープ



バルキー押え

ミシンの設定

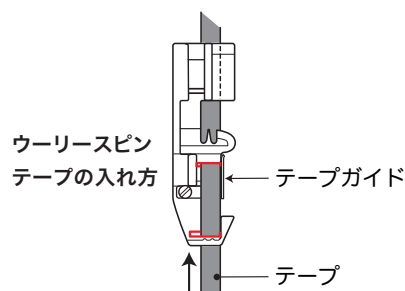
・基本の数値ですので生地に合わせて調節して下さい。

		縫い目切換ダイヤル		かがり幅ダイヤル	送り目ダイヤル	差動レバー
		糸取物語	衣縫人			
4 本糸ロック	2 本針 4 本糸	OVER A	左 右 上 下 針 針 ル ル 糸 糸 パー 糸 糸 ー 糸	7.5	3	N
	1 本針 3 本糸※	OVER B		5.0		
3 本糸ロック	1 本針 3 本糸※	OVER A	4 4 4 4			

※3 本糸の縫い合わせは薄地にのみ対応しています。

縫い方

- ウーリースピンテープの端を斜めに切ります。
- バルキー押えの 2 箇所の穴にピンセットでウーリースピンテープを通します。



- ミシンに押え金をセットします。
- ウーリースピンテープと空環からかんを押えのうしろで一緒に持ち、軽く引っ張りながら数センチ縫います。
- 生地を入れて縫います。
- 縫い終わったら、押えの手前でウーリースピンテープを切ります。テープが無くなるまで空環を出します。

- 肩の縫い合わせの場合は片方の肩を縫い終わったらテープと空環を切らずに、テープだけ5cmくらい縫ったあと、残りの肩も続けて縫い合わせます。そのあと、肩と肩の間のテープと空環をはさみで切ります。